

# えいせい

NO. 37 2011年4月26日発行  
 発行責任者 森越 初美  
 TEL 03-5320-7412(直)  
 内線 63-210  
 FAX 03-3349-1502  
 Eメール info@eiseikyoku-shibu.com  
 URL http://www.eiseikyoku-shibu.com

第82回 2011年5月1日(日)

## メーデーに参加しよう!

目くもの団結と生活と権利を守り、  
平和と民主主義、中立の日本をめざそう



### 第82回 メーデー

2011年5月1日(日)



**東北関東大震災の被災地支援  
 全ての労働者に賃上げを  
 雇用確保で景気回復を**

3月11日午後2時46分、三陸沖を震源地とするマグニチュード9.0という国内最大規模の地震が発生、北海道から千葉にかけて多くの都市が津波によって壊滅的被害を受けました。  
 そのうえ、福島第1、第2原発の放射能漏れによる第

2被害が発生し、千葉では石油コンビナートが炎上、発電所が停止するなど経済活動、国民生活に多大な影響を及ぼしてきています。  
 全労連は、「東北関東大震災労働者対策本部」を設置し、被災地の支援に向けて取り組んでいます。

#### 4つの課題

- 「賃上げ・雇用確保」「内需主導の景気回復を
- ディーセントワーク実現など働くルール確立を
- 国民的共同努力で「TPP参加」反対、憲法・平和を守る
- 国内外の労働者と連帯・共同の強化

日程および会場

☆ 中央メーデー

代々木公園B地区

9時会場11時式典

12時20分メーデー

パレード(新宿コース)

☆ 三多摩メーデー

井の頭公園西園

9時会場10時式典

12時メーデーパレード開始

用語解説

ディーセントワーク(Decent work、働きがいのある人間らしい仕事)

# 放射線 身体にどんな影響を及ぼすの？

福島第一原発で事故が起き、半径20キロ圏内は立ち入り禁止となっています。私たちの身体にいったいどのような影響があるのでしょうか。身体に浴びたり、水道水や野菜の暫定規制値など原子力安全衛生委員会の資料をもとに作成してみました。

【問】放射線は自然界からも浴びているのでしょうか。

【答】私たちは普段から、宇宙や大地など自然界から放射線を浴びています。人体が受ける放射線量は、「シーベルト」という単位で表し、年間2.4シーベルト、胃検診のX線検診の4回分といわれています。

【問】どのくらい浴びても大丈夫なの？

【答】一般の人が浴びても大丈夫といわれている限度量は、年間1ミリシーベルトと決められています。原発などの緊急時は、20〜100ミリシーベルトの範囲内で各国が決めます。日本は下限の20ミリシーベルトを避難の目安にしました。

【問】放射能汚染の暫定規制値を超えた水道水や野菜の摂取・出荷制限が行われています。暫定規制値とはなんですか。

【問】放射能汚染の暫定規制値を超えた水道水や野菜の摂取・出荷制限が行われています。暫定規制値とはなんですか。

【答】原子力安全衛生委員会が、原子力災害時などのため定めた「飲食物摂取制限に関する指標」に基づいています。指標では、放射性ヨウ素や放射性セシウムなどの放射性物質ごとに、摂取制限の必要な飲食物について指標値を決めています。

【問】指標地の根拠は何ですか。

【答】放射性ヨウ素は、のどのところにある甲状腺に蓄積しやすく、多量摂取すると放射線被ばくによる甲状腺障害を引き起こします。そのため指標値は、飲食物由来の放射線要素による被ばく線量を年間50ミリシーベルト以下に抑える目標で決められています。

その上で、日本人の摂取量を考慮して、飲料水と牛乳・乳製品については1キログラム当たり300ベクレル、野菜類については同2000ベクレルと定められています。

なお、甲状腺被ばくの影響が特に大きいと考えられる乳児では、飲料水については1キログラム当たり100ベクレルと厳しくなっています。

放射能汚染の指標地については、食品由来の放射性セシウムによる被ばく線量を年間5ミリシーベルト以下に抑えることを目標としています。飲料水と牛乳・乳製品は1キログラム当たり200ベクレル、野菜、穀類、肉・卵・魚その他は同500ベクレルとなっています。



放射線の1回照射量と身体影響 (mSv = ミリシーベルト)

照射量	身体影響
250mSv	身体症状なし
500mSv	白血球一時減少
1000mSv	吐き気、嘔吐
1500mSv	50%の人に放射性宿酔 (二日酔いのような状態)
2000mSv	5%の人が死亡
4000mSv	30日間で50%の人が死亡 (半致死線量)
7000mSv	100%人が死亡

ICRP (国際放射線防護委員会)

## 全労連・自治労連・東京自治労連 復興ボランティア派遣について

全労連は、「東日本大震災被災者支援ボランティアの派遣について」よびかけ、浸水した被災者家屋の清掃、後片付け、救援物資の整理と配布、被災者の要望や意見の聞き取り等、精力的に支援活動を展開しています。

広大な被災地域や極めて甚大な損傷により、支援ボランティア活動が長期間にわたることが想定されており、自治労連は、被災地現地と連絡をとりながら具体的な要望に応えるため、ボランティア派遣、支援物資の調達など諸準備を行っています。

5月の連休は、全国からのボランティアで派遣する枠が一杯となっています。連休明けのボランティアを希望する方は、衛生局支部まで連絡をお願いします。組合員の皆さんの積極的な参加を呼びかけます。

### 今後の日程

- 五月一日(日)
- 第八二回ミーティング
- 代々木公園・井の頭公園
- 五月一日(水)
- 看護の日行動
- 六月一日(土)
- 新入組合員歓迎会

## 生協からのお知らせ 今日(26日)のお昼休み ☆ 紅小夏

450円 (5~6個) 組合員  
500円 その他  
衛生局支部書記局 27階南側

※本庁舎以外で取り組む場合は予め連絡ください。